

事業番号	事務事業名	地域自治組織情報交換会開催事業				所管課名	地域振興部地域振興課	所属長名	佐川 智弘
	方向性	3	資源を活かす			係・グループ名	地域振興グループ		
	重点施策	2	地域のまちづくり活動を支える環境をつくる			根拠法令等	廿日市市協働によるまちづくり基本条例		
	施策方針	2	持続可能な地域自治への支援			基本事業			
予算科目	会計	01	款	02	項	01	目	11	事業1 事業2 経・臨
	一般会計		総務費		総務管理費		コミュニティ振興費	008	53 経
予算上の事業名									
協働のまちづくり事業(政策)									

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	廿日市市内28地区の地域自治組織を対象にした情報交換会を開催する。情報交換会では、まちづくりチャレンジ応援補助金の採択案件の発表等により、廿日市市内での地域課題解決や先進事例の共有や、地域と地域、地域と市の情報交換を実施する。 (市の役割) 企画、スケジュール調整、会の運営等 (R3年度実績) 市内地域の取組事例2件について発表動画を収録し、有識者からの意見・講評等とあわせてyoutubeへ公開した。	平成22年度に、協働によるまちづくりを進めていくうえで不可欠な「信頼」と「対話」を継続的に築いていくため、地域住民と行政職員がフラットな立場で、自由に意見交換ができる場として開始した。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容 情報交換会の開催	活動指標(活動の規模) 単位: 回 区分: 回数 元年度: 2 2年度: 2 3年度: 2 4年度: 2 5年度: 2 実績: 1, 0(中止), 1(動画公開)
対象(誰、何を対象にしているのか) 地域自治組織	対象指標(対象の規模) 単位: 地域 区分: 見込/実績 元年度: 28 2年度: 28 3年度: 28 4年度: 28 5年度: 28
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 先進事例や他地域の取組事例を共有し、地域課題の解決に活かせる	成果指標(意図の達成度) 単位: % 区分: 見込/実績 元年度: 15.8 2年度: 18.3 3年度: 31.3 4年度: 31.5 5年度: 31.7 実績: 15.8, 18.3, 15.1
結果(結びつく施策の意図は何か) 持続可能な地域の実現に向けた市民主体の組織となる	施策の成果指標 単位: % 区分: 見込/実績 元年度: 52.6 2年度: 49.7 3年度: 60.0 4年度: 65.0 5年度: 70.0 実績: 52.6, 49.7, 50.3

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	前年度比	令和4年度(予算)
事業費(A) (円)	276,440	143,080	88,080	198,000	109,920	200,000
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他特財				0	
	一般財源	276,440	143,080	88,080	198,000	109,920
業務延べ時間 (時間)	40	30	15	30	15	
人件費(B) (円)	180,000	137,000	64,000	131,000	67,000	0
トータルコスト(A+B)	456,440	280,080	152,080	329,000	176,920	200,000
主な支出項目		令和3年度決算		備考		
令和3年度情報交換会企画・実施業務委託料		198,000	円			
			円			
			円			
			円			

事業番号	事務事業名	地域自治組織情報交換会開催事業	所管課名	地域振興部地域振興課
------	-------	-----------------	------	------------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
・例年、年2回の開催(健康福祉部と合同で開催したH29年度は3回)としている。R元年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、回数減や中止を余儀なくされたが、R3年度はyoutubeを活用し実施した。	・H29年度 健康福祉部の「まちづくり×福祉ミーティング」と合同開催(全3回開催) ・R3年度 先進事例2地区の発表及び有識者からの意見・講評等を収録しyoutubeへ公開	・対面の形式ではなく、オンラインも活用した方法へと開催手法を工夫する必要がある。

5 事業評価(令和 3 年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	最終的に目指している「地域の自治が確立している」状態となるため、小さな事項でも地域に変化が起こるような仕掛けを行っていく必要がある。
	② 市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せるとはできないか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	地域自治組織に対しては市から交付金・補助金を配布しており、地域自治の伴走支援者として市が実施しているが、最終的には地域で主体的にこうした事業を実施できることが望ましい。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	地域自治組織の代表者は必須であるが、多くの地区が代表者の高齢化が進行していることなどから、代表者に加えて実際に各地区で活動されているプレイヤーなども対象として検討する必要がある。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	各地区によって地域実情が異なるが、それぞれの地区に情報を持ち帰って実際に一歩でも前に進めるような仕掛けが必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	全地域自治組織が一堂に会し事例共有などを行う場合は他にない。	
⑥ 類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	H29年度に健康福祉部と合同で実施したように、他部との連携で開催することで改善が図られる可能性がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	オンラインとのハイブリッド開催、地域住民等との協力により、事業費の削減余地は検討できる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	地域自治組織にも事業の企画等に携わってもらうなど、手法の見直しにより改善余地はある。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	対象は市内全体の地域自治組織であり、公平・公正である。

6 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地有り	R3年度はyoutube配信を活用するなどの工夫を行った。今後は、オンラインと対面のハイブリッド形式での実施など、更に効果的に目的達成ができる方法を検討する必要がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 改革改善案による成果・コストの期待効果																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了	今後の改革改善案 オンラインを活用した情報交換会の開催 対象者の拡大(代表者に加えて実際に各地区で活動されているプレイヤーなど)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
地域におけるオンライン環境の整備		(廃止・休止、完了の場合は記入不要)																							